

ペタンク

場所	人数	対象年齢	運動強度
屋外・屋内	3人対3人以内	誰でも可	軽度

特色

ペタンクは道具を使って行うスポーツの中でも比較的簡単で、しかもゲーム性を失うことなく、どこでも、誰でもできるスポーツです。ルールは簡単ですが、ゲームの読みには経験が必要とします。実力的に開きがあっても、作戦ミスやゲームの流れで思わぬ不覚を取ることもあります。また地面のコンディションやゲームの展開などにより、投球方法を変える必要があり技術的な奥行きもあります。

発祥はフランスで、ヨーロッパでは毎年世界大会が行われており、フランス文化圏では強い人気があります。

用具

<屋外用>

- ・ビュット(目標球)・・・ 1個
- ・ボール・・・ 赤6個、緑6個



<屋内用>

- ・ビュット(目標球)・・・ 1個
- ・ボール・・・ 赤6個、青または緑6個
- ・サークル

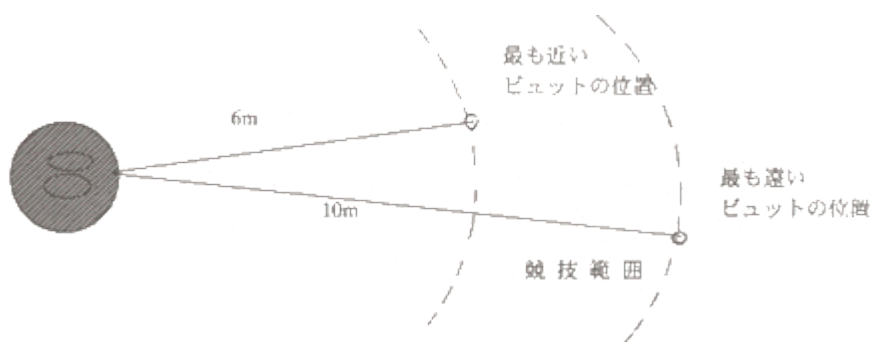


<その他>

- ・メジャー・・・ 2m程度のものがよい

コート

- (1) 幅4m×長さ15m以上あればよい。
- (2) 投球サークルは、直径35cm～50cm
- (3) ボールがバウンドしにくい地面が適する。(砂利地や砂浜でも、又グラウンドでもでき、各々趣があって面白い)



競技方法

(1) 対戦方式に対する投球数

シングルス……………1人3球
ダブルス(1チーム2人)……………1人3球
トリプルス(1チーム3人)……………1人2球

(2) ゲームの進め方

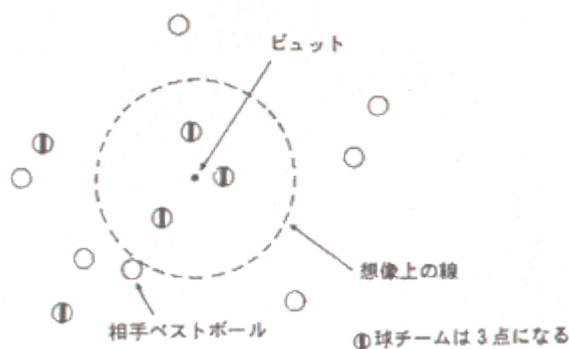
競技はどちらかのチームが、13点を先取するかで勝敗を競います。

- 1 全員コートに集合し、ジャンケン等で先攻チームを決める。
- 2 先攻チームの1人がスタート地点を定めて投球サークルを画き、この中からビュットを投げる。ビュットはサークルから6m～10mの間に止める。
- 3 先攻チームの第一投者がビュットの近くに寄るようボールを投げる。
※1人の投球数は決まっているが、チーム内での投球順番は決まっていない。
- 4 後攻チームは先攻チームより一層近く寄るように何回でも投球する。
- 5 次にビュットよりボールが遠くなったチームが投球する。これを繰り返し、全投球した時点で最もビュットに近いボールのチームが勝ちとなる。
- 6 一方のチームが6球投げ終わっても、勝ったチームに残球があれば、更に得点を稼ぐために全球投げる。これで第1セット終了。
- 7 投球によりボールを動かしたり、ビュットを動かすことにより得点することもできる。
- 8 このセットで勝ったチームが、次の第2セットで投球サークルを描き、ビュットを転がしゲームを進めていく。セットは、何回も繰り返して13点先取したチームが勝ちとなる。(投球サークルはセットごとに画く)
- 9 ポイントの測定は、最後にボールを投げたプレイヤー、または同チームの他のプレイヤーが行う。

(3) 得点の数え方

得点は、両チームのビュットから最も近いボール(ベストボール)の確認から始める。相手チームのベストボールより味方チームのボールがいくつ近いか、その数が得点になる。得点はいつも片方にしかなく、一方はゼロになる。

<得点計算>(例)



- (4) ボールを投げるときはサークルの線を踏んだり、ボールが地上に落ちる前に足を上げたりしてはいけない。

参考:とやまスポーツ情報ネットワーク(H23.5.12)

<http://www.sportsnet.pref.toyama.jp/contents/qa/new-sports/9.html>